

令和4年度
第1号

広島市乳幼児教育保育支援センターだより



『広島市乳幼児教育保育支援センターだより』では、当センターの様々な取組や、幼児教育・保育に関する情報をお伝えしています。また、センターでは「乳幼児教育保育アドバイザー」を派遣することにより、幼稚園・保育園・認定こども園等への支援を行っていますので、ぜひご利用ください。



乳幼児教育保育アドバイザーとは？

大学の教員、元保育園長、元幼稚園長、元小学校長、公認心理士、防災士、元警察官などの専門的な知識や豊富な経験を持つ人が乳幼児教育保育アドバイザーとして、幼稚園・保育園等を訪問し、幼児教育・保育の観点からそれぞれの園等の実態に応じて支援を行っています。詳しくは、当センターHPをご覧ください。



広島市HPで 🔍 「乳幼児教育保育支援センター」と検索してください。
派遣についての御相談もお受けしていますので、お気軽に御電話ください。



乳幼児教育保育アドバイザー派遣案内 2 次元コード

各種研修の御案内

幼稚園教諭・保育士等が幼児教育・保育への理解をより深め、その資質・能力の向上を図るためには、研修を受けることも重要です。公立・私立、幼稚園・保育園等を問わず御参加いただける本市主催の研修を紹介しますので、ぜひ御活用ください。研修の詳細についての問い合わせや申し込みについては下記の連絡先まで御連絡ください。

研修名	講師名	開催日	連絡先
令和4年度広島市 幼稚園教諭・保育士 新規採用者合同研修会	第1回 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 中坪 史典 氏	7/13、20	広島市 乳幼児教育保育 支援センター (082) 504-2833
	第2回 調整中	1月予定	
幼稚園主任等研修	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科 教授 津金 美智子 氏	10/21	広島市 教育センター (082) 233-3563
幼稚園教育実践研修	安田女子短期大学 元教授 柿岡 玲子 氏	7/29	
幼稚園教育実技研修	日本幼児体育学会 専門指導員 阿部 玲子 氏	8/23	

※ 幼稚園主任等研修、幼稚園教育実践研修、幼稚園教育実技研修についても保育士の皆さんも御参加いただけます。

【発行元】 「広島市乳幼児教育保育支援センター」

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目4番21号 広島市教育委員会事務局総務部教育企画課内

E-mail : nyuyouji@city.hiroshima.lg.jp

電話番号 : (082) 504-2833

Fax 番号 : (082) 504-2509

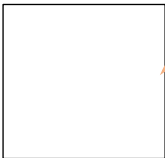


各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力について

本市では幼児教育と保育の一体的な質の向上に向けて、幼稚園教諭・保育士等に対する効果的な研修などの人材育成について、専門的見地から幅広く意見を聴取するため、「人材育成のための意見交換会」を設置し、学識経験者や公立・私立の関係団体代表者と共に、幼稚園教諭・保育士等に必要となる資質・能力の明確化、それに基づくキャリアステージに応じた人材育成の内容・方法などについて、検討を進めています。

その中で、幼稚園教諭・保育士等が成長し続けることができるよう、各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等が身に付けるべき資質・能力を具体的に整理した「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」を作成しました。

公立・私立、幼稚園・保育園等を問わず各園での人材育成に御活用いただければと思います。



こちらの2次元コードから印刷できます。各園でご活用ください。

各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力

幼稚園教諭・保育士等の成長の段階

キャリアステージ	資質・能力	具体的な力	育成方法
基礎形成期	倫理観・責任感・協調性	園のルールや規範を尊重し、他者への配慮ができること。責任をもち、約束を守ること。仲間と協力して活動すること。	園での実践、研修、先輩教諭・保育士からの指導を受けること。
発展期	教育保育を構想する力・実践展開する力	子どもの発達や個性を考慮し、適切な教育保育を計画し、実践すること。実践から学び、改善すること。	実践研修、事例研究、自己研鑽など。
高度化期	組織を運営する力	園全体の運営に関与し、リーダーシップを発揮すること。他者との連携・協働を推進すること。	リーダー研修、マネジメント研修など。

キャリアステージの基盤になる資質・能力

乳幼児教育保育アドバイザーからのメッセージ



ご紹介した「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」について、検討にも携わっていただいた**深澤 悦子先生**にお話を伺いました。

2019年度から携わった「人材育成のための意見交換会」においては、広島の子どもの姿や保育者の姿を真ん中に据えて、幼稚園教諭や保育教諭、保育士に必要となる力について、公私の垣根を越えて検討を重ねてまいりました。この会では、何よりも広島の子どもたち一人ひとりがよりよく育つために、保育者が自らの資質・能力をどのように育ていけばよいのかをできる限り実際の保育者の具体的な姿を見据えて取り組んでいます。

作成したシートの縦軸には「倫理観・責任感・協調性・教育保育を構想する力・実践展開する力・組織を運営する力」を策定しています。横軸にはそれらの資質・能力をそれぞれのキャリアステージに即して、どのように深めていくのかの見通しをもって人材育成を捉えられるように構成しています。各キャリアステージを設定していますが、共に保育実践を学び合い、創造していく仲間（同僚）であるという認識を基調としています。

「基礎形成期」（教育・保育経験が浅い保育者）においては、保育実践の楽しさを感じながら、子どもの内面を慮ることができるようになることの重要性や組織の一員であることの理解について、「発展期以降」（学年主任、チーフ、主任、副園長など）では、仲間と共に多様な視点から保育の事実を捉え、構想していく力や保育を省察しながら、他者と共に語り合えるリーダーとして、「充実・深化期」（園長など）においては、職員と共に連携・協働し、つねに改善へ向けて保育をマネジメントしていく役割がわかるように、各期の具体的な指標となるように記述しています。

教育・保育研修は、これまで公私や各団体でそれぞれ固有な視点から研修が組織され、実績を積み重ねておられます。それぞれの研修の固有性を生かしつつも、重複しているような研修を共有する場を設定することで、子どもたちと向かい合う時間が少しでも多く豊かになればと願いつつ、広島の保育者の人材育成について、今年度も熟考し続けてまいります。